

| 科目名(副題) | 開講年次(セメスター) | 単位 | 担当者名 |
|---|--------------------------|----|-------|
| インターネットを思索する 人文社会科学の観点からインターネット文化について考える | 2~4年次秋学期 (4・6・8セメスター) | 2 | 松浦 明宏 |
| 科目ナンバリング | | | |
| 授業概要・目的 | | | |
| <p>私たちが現代という時代を生きていく上で、パソコンやスマートフォンが必要不可欠なコミュニケーション・ツールとなっていることは否定できません。これらのツールについては、技術的な意味での使い方を学ぶことももちろん大切ですが、それと同時に、それらを使うことによってどのような倫理的・精神的・社会的問題が生じているのかを知ることが重要です。その知識に基づいて、はじめてそれらのツールとのつきあい方を自分自身で適切に考えることができるようになるからです。</p> <p>そこで、この授業では、そのための基礎となる様々な問題・事例・思想的背景を学び、授業参加者との相互的な情報共有を行いながら、インターネット社会をどのように生きていくべきなのかを、より深く理解することを目指します。【科目ナンバリング】Z1-PHE-201-J</p> | | | |
| 学修到達目標 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> インターネットを通じてのコミュニケーションについて、新しいさまざまな問題に気づくことができる。 ケータイ、スマートフォンという新しい道具とどのように付き合い合っていけばよいのかをより深く理解できるようになる。 | | | |
| 授業方法 | | | |
| <p>【遠隔授業（オンラインでの授業実施のみ）】 全ての回をオンラインで実施します。講義の回はオンデマンド型の授業、討論の回はZoomを用いたリアルタイム型の授業になります。 各回の授業について、教材用の動画資料等を授業前日までにMaNaBoにアップロードしますので、事前学習に役立ててください。授業後にはその授業についての意見・感想・要約を書くレスポンスペーパーの提出により事後学習を行ってください。 教員への質問や学生さん同士の意見交換については、リアルタイム型授業中の質疑応答の他、MaNaBoの「Forum」等を用意しますので、そちらを利用してください。</p> | | | |
| 活用される授業方法 | | | |
| | | | |
| 成績評価方法・基準 | | | |
| レスポンスペーパー (50%) 討論への参加姿勢 (50%) | | | |
| 教科書・教材・参考文献 等 | | | |
| 【教科書・教材】 教科書は使用しません。動画資料、pdf資料等の各種教材をMaNaBoを通じて配信します。 【参考文献】 小此木啓吾『「ケータイ・ネット人間」の精神分析』（朝日文庫） 榎本博明『病的に自分が好きな人』（幻冬舎新書） | | | |
| 質問への対応(オフィスアワー等) | | | |
| レスポンス・ペーパー、討論の際の質問、MaNaBoの「Forum」の他、電子メール（Manaboを通じて教員宛メールを送ってください）により対応します。オフィスアワー（月曜日15:00-16:00 場所は事前にメールで相談して決めます）を利用して質問していただいても構いませんが、その場合は、電子メールで予約してください。 | | | |
| 履修者へのコメント | | | |
| オンデマンドの回のレスポンス・ペーパー、あるいは、リアルタイムの回の討論によるインタラクティブな情報共有を通じての考察が、この授業の最も重要な部分です。これらを通じて、単に授業を「受講」するだけでなく、相互的な形で、さまざまなものの見方・考え方を授業参加者と共有し、それを今後の自らの生活実践へと生かしていくことができます。同じ事柄を見聞きした時に、他の人達がどう考えているのかを知りましょう。そのことが、自分だけで考えていた時と比べて、はるかに大きな力になります。この授業を充実させるために、聴講、レスポンス・ペーパーの記入、討論への参加を積極的に行うようにしてください。 | | | |

事前事後学習

事前学習

それぞれの回の授業内容を、講義資料として授業前日までにmanaboにアップロードしておきますので、各自、ダウンロードして次回の講義内容の概要を予習しておいてください。おおむね1時間程度かけて行うとよいでしょう。

事後学習

それぞれの回の授業についての意見・感想・要約等を、レスポンスペーパーとして書き、その回の授業の事後学習としてください。おおむね1時間くらいかけて行うとよいでしょう。

| 科目名(副題) | | 開講年次(セメスター) | 単位 | 担当者名 |
|---|--------------------|--|----|-------|
| インターネットを思索する 人文社会科学の観点からインターネット文化について考える | | 2~4年次秋学期 (4・6・8セメスター) | 2 | 松浦 明宏 |
| 授業計画 | | | | |
| No. | 項目 | 内容 | | |
| 1 | イントロダクション | 導入：テレビとインターネット（動画視聴）[オンデマンド型授業] | | |
| 2 | ポストモダン前史（1） | 敗戦とGHQによるメディア統制 [オンデマンド型授業] | | |
| 3 | ポストモダン前史（2） | 学生運動の結末 [オンデマンド型授業] | | |
| 4 | 討論（1） | マスメディアの存在意義等 [リアルタイム型授業] | | |
| 5 | ケータイ・ネットとポストモダン（1） | 内的ひきこもりと外的ひきこもり -やまあらしのジレンマ、失業- [オンデマンド型授業] | | |
| 6 | ケータイ・ネットとポストモダン（2） | 現代人の傷つきやすさ -心に穴があいている- [オンデマンド型授業] | | |
| 7 | ケータイ・ネットとポストモダン（3） | ゲーム依存と薬物依存との類似性 -やはり脳が壊れていた- [オンデマンド型授業] | | |
| 8 | 討論（2） | ポストモダン社会の人々の心性と依存 [リアルタイム型授業] | | |
| 9 | ケータイ・ネットとポストモダン（4） | SNS、炎上とその原因 -正義感、社会への不満- [オンデマンド型授業] | | |
| 10 | ケータイ・ネットとポストモダン（5） | 「他人は風景」、島宇宙化、対人知覚障害 -電車の中でドライバーを使って髪をセットする人- [オンデマンド型授業] | | |
| 11 | 討論（3） | 炎上、コミュニケーション不全症候群についての評価等 [リアルタイム型授業] | | |
| 12 | ポストモダンとサブカルチャー（1） | オタク道（動画視聴） [オンデマンド型授業] | | |
| 13 | ポストモダンとサブカルチャー（2） | 「おたく（オタク）」通史 -コミュニケーション不全症候群から”アベマリオ”へ [オンデマンド型授業] | | |
| 14 | ポストモダンとサブカルチャー（3） | 虚構重視 -ニヒリズム、スノビズム、シニシズム、シミュラークル- [オンデマンド型授業] | | |
| 15 | 討論（4）と全体の総括 | オタク的感性、Vtuber、ボーカロイド等、全体の総括 [リアルタイム型授業] | | |